

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01642広尾町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
広尾町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	コロナ禍を受け、地域の人材・物的資源を活用した授業が減った現状となっている。	コロナ禍を終えたものの、地域資源を生かした取組が昨年度も少ない傾向にあり学校教育が十分に開かれたものになっていない。	小中高校で令和6年度よりスタートする「地域学」に対して、地域人材・資源の活用を積極的に進める。	学校と地域が協働する取組により各校の教育活動がより社会に開かれたものになる。	授業に協力する地域の人材の人数	30	人	100	113	各学校が郷土学習を重視したこともあり、地域の教育資源の掘り起こしが進み、人材の協力が多くあった。	
						1 ページ							